

平成19年度事業経過報告

総務部

1. 品位保持、執務のための指導および連絡
会員に対する質問、問い合わせ等に対応
会員の業務に関する一般市民からの苦情に対応
東北ブロック協議会新人研修会への参加の指導
各種通知文書を作成送付
みなし退会の会員への通知
会則105条の内規の発行等
2. 会員への情報の迅速化
情報内容や緊急性によって会務通信と会員通知に区別して発行
会務通信96号から101号まで発行
会員通知、伝達業務及び連合会情報等を通知
広報部との連携によるホームページの充実
3. 会則、諸規則変更に伴う検討および起案
職印証明規程、補助者規則、職員退職金規程の検討
4. ADR設立準備委員会による設立推進
準備委員会を立ち上げ6回開催、設立に向けて現在準備中
5. IT委員会の活用
2回開催
オンライン申請の勉強会
事務所のIT化に関するアンケートの実施
6. 綱紀委員会開催
前年度継続案件への対応および委員長決定等
7. 会員資料等の整備
会員名簿のデータ整備及び作成・印刷
8. 会館の保守管理と営繕
会館清掃等は例年どおり実施

エアコン交換
看板塗装

9. 電子証明書(ＩＣカード)の発行の推進
会務通信でＩＣカードの取得方法等について通知した
10. その他総務部として所管すべき事項(街区基準点に関する契約締結等)
街区基準点については宮古市以外の契約締結が完了した
契約更新にあたり該当市区町と折衝、包括使用承認の契約済み
(一部市除く)

財務部

1. 財務特別委員会の組成、開催
平成20年1月、2月、3月 3回開催
諮問事項
一般会計、特別会計の見直し
ADR(仮称 境界問題相談センターいわて)の予算措置
功労金給付について
平成20年3月26日答申

業務部

1. 業務に関する調査研究
盛岡地方法務局不動産表示登記事務取扱要領
業務委員会を活用し検討協議の結果を会員研修会で報告
不動産登記規則第93条の不動産調査報告書
業務委員会を活用し検討協議の結果を会員研修会で報告
表示登記研究会の開催
検討協議の結果を会員研修会で報告
2. 調査士業務に関する指導、連絡、相談
一般国道道路境界確認証明についての打合せ
検討協議の結果を会員研修会で報告
要望事項の回答待ち
日調連発行の「土地家屋調査士筆界特定制度の手引き」を配布

3. 日調連事業に伴う連動事業の推進

平成19年度第1回東北ブロック担当者会同出席

(新人研修会講師選任及び講義内容調整のための会同)

研修部

1. 一般研修会の開催

第1回 平成19年10月5日(金) 午前10時30分～午後4時30分

盛岡市「いわて県民情報交流センター アイーナ804号室」

出席会員148名

『「地域の慣習」についての調査報告』

報告者 副会長 上田 穰

『土地家屋調査士の懲戒を考える』

説明者 会長 菅原 唯夫

副会長 小山 正

『調査士業務と民事責任』

講師 顧問弁護士 加藤 文郎氏

第2回 平成19年12月5日(水) 午後1時30分～午後4時30分

盛岡市「いわて県民情報交流センター アイーナ804号室」

出席会員125名

『アンケートの実施』

会場内において記入・回答に30分間実施

『電子申告について』

説明者 盛岡税務署 資産課税部門

連絡調整官 榎 文彦氏

『境界問題相談センター設立準備委員会中間報告と
今後のADR研修に向けて』

説明者 境界問題相談センター設立準備委員会

委員長 安保 豊人(副会長)

及びADR研究委員会

委員長 金 哲朗

『ADRと境界問題相談センターについて』

講師 宮城県土地家屋調査士会

副会長 古積 威氏

第3回 平成20年3月26日(水) 午前10時30分～午後4時45分

盛岡市「いわて県民情報交流センター アイーナ804号室」

出席会員 142 名

「東北ブロックオンライン登記申請促進委員会担当者会同報告」

報告者 オンライン登記申請促進委員会

委員長 小 岩 邦 弘 (広報部長)

副委員長 島 山 明 夫 (IT委員長)

「表示登記研究会ほか業務打合せに関する報告」

報告者 業務部長 川 村 浩 次

「街区基準点の使用承認手続き及び職務上請求書の取扱いについて」

報告者 副会長 小 山 正

「境界問題相談センター設立準備委員会最終報告」

報告者 境界問題相談センター設立準備委員会

委員長 安 保 豊 人 (副会長)

「筆界特定制度、オンライン登記申請、地図情報システム等の
最新登記行政関連情報について」

講 師 盛岡地方法務局 首席登記官 芳 見 孝 行 氏

「土地家屋調査士制度の現状とこれから」

講 師 日本土地家屋調査士会連合会

副会長 横 山 一 夫 氏

「裁判員制度について」

講 師 盛岡地方裁判所

刑事部総括判事 杉 山 慎 治 氏

2. 特別研修会の開催

ADR講座の開催

第1回 1月31日(木) 午後1時～午後4時30分

盛岡市 「いわて県民情報交流センター アイーナ501号室」

出席会員 56 名

「土地境界紛争 ADR の可能性－社会的背景とその意義」

講師 岩手大学教育学部准教授 土 屋 明 広 先生

「調停の現場から」

講師 みやぎ境界紛争解決支援センター

センター長 古 積 威 氏

公嘱協会との協賛事業

・第5回登記測量研修会を後援

平成19年5月23日(水) 午後1時30分から16時30分まで
盛岡市「岩手県民会館・中ホール」

「盛岡地方法務局不動産表示登記事務取扱要領の要点」

講 師 盛岡地方法務局登記部門

総括表示登記専門官 奥 山 正 則 氏

「地図作成作業地区内の街区基準点について」

講 師 調査士協会盛岡副支所長 岩 山 勝 英 氏

「マッピングソフトを使用した基準点管理について」

講 師 調査士会前広報部次長 岩 崎 久 哉 氏

「休眠担保権の抹消について」

講 師 司法書士協会 専務理事 村 上 和 也 氏

「不在者財産管理人制度について」

講 師 司法書士協会 常任理事 北 田 始 氏

・第2回会員研修会を共催

同一会場で午前協会、午後会で実施

3. 支部研修会への支援

支部へ研修会の実態による補助金支給

4. 研修規則等の検討

研修委員会を活用し規則の見直し研修内容及び遅刻早退の確認方法を検討。見直しについては見送り。

19年度分の取得研修単位を会のホームページ（会員の広場）に掲載

5. その他

第3回土地家屋調査士特別研修への協力（基礎講義、集合研修考査へ協力員の派遣）

他会研修会の開催案内

広報部

1. 対外的事業（制度のPR）

（1）記念事業

① 表示登記の日（4月1日）

岩手日報朝刊広告掲載（3/30）

各支部事業と連携して表示登記の日をアピール

- ② 法の日（10月1日）
岩手日報朝刊広告掲載（9/30）
各支部事業と連携して法の日をアピール

- (2) 定期事業 定期無料相談所開設（盛岡川徳8階行政相談室）
開催日時：毎月第3水曜日10時～16時

相談員は盛岡支部に協力していただきました
相談総件数は8件でした

- (3) 調査士制度のPR広告
マスコミを使った広報活動等
TV年賀とラジオCMを併せて企画提案

2. 対内的事業（会員への情報伝達）

- (1) 黎明73号の取材編集発行
300部作成

- (2) カレンダーの斡旋
配送方法は例年と同じですが、カレンダーを希望する会員に対しては実費としてカレンダー代をお願いした

- (3) ホームページの運用
レンタルサーバーは、ドリームラボと契約しており、データの更新・管理は、アイティイーと契約して運用しております
データ更新は、随時実施した
今年度、「街区基準点」「関係法令」「会員通知」のページを新設した
広報委員会を6月、2月に開催し、ホームページの改善について検討した

- (4) 事業の記録
ビデオ収録等
総会（5/18）
研修会（10/5 12/5 H20.3/26）

社会事業部

1 ADRに関する調査研究

(1) 筆界特定について

① 「筆界特定事件打ち合わせ会」への協力

日 時 平成20年3月7日

場 所 盛岡合同庁舎1号館3階会議室

出席者

筆界調査委員

土地家屋調査士(17名) 弁護士(2名) 司法書士(2名)

盛岡地方法務局

首席登記官 総括表示登記専門官ほか12名

(2) 民間型ADR(調停)について

① ADR研究委員会の企画により「第1回ADR講座」を開催

② 「全国ADR担当者会同」に参加

日 時 平成19年12月9日(日) 午後1時30分から
10日(月) 正午まで

場 所 TKP御茶の水ビジネスセンター

参加者 安保豊人境界問題相談センター設立準備委員長

岩崎久哉境界問題相談センター設立準備副委員長

2 地図作成作業、地図情報システム事前整備作業について

(1) 不動産登記法第14条地図、DID地区を中心とする都市部地籍整備によって推進される地図作成及び整備等に関する対応

(2) 地籍制度充実のための政策要望等への対応

(3) 地図混乱地域(所有権が錯綜)解消のための調査・研究

以上につき、Eメールマンスリーの社会事業部からの活動報告などをチェックしながら情報の収集を図った